

アイスバーン らくらくタイヤチェーン 取扱説明書

この度は、「アイスバーン・らくらくタイヤチェーン」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にご使用頂くために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ずお読み下さい。
万一、製品の不具合・付属品の不足などがございましたら、直ちに使用を中止しお買い上げの販売店にご相談下さい。

◆セット内容

※本製品には以下のパーツが入っています。

1	チェーン本体 (2本)
2	取扱説明書 (本書)
3	軍手 (1双)・腕力バー(1双)
4	補修パーツ (クロス用／サイド用各2個)

◆各部名称

- ①クロスチェーン
- ②サイドチェーン(黄)
- ③ジョイントフック(緑)
- ④スライドギア(赤)
- ⑤リードチェーン(赤)
- ⑥カギフック
- ⑦ケーブルジョイント
- ⑧ケーブル(青)
- ⑨リング(赤)A
- ⑩リング(赤)B



◆安全上のご注意

- 本製品を正しく安全にご使用頂くため、ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みになり、よく理解したうえで正しくお使い下さい。
- この取扱説明書は大切に保管のうえ、ご使用中に分からなくなった時など、必要な都度、お読み返し下さい。また、他の人が使用する場合も同様です。
- ここに示す注意事項は、本製品を正しく安全にご使用頂くためのもので、火災、ケガなどを未然に防止するものです。

◆使用上の注意と警告マーク

△警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
△注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害の発生が想定される内容を示します。

◆ご使用前の注意と警告

- 本製品は乗用車専用です。貨物自動車全般やトラック(1BOXバン含む)には使用しないで下さい。無理に使用されるとチェーンの破損や事故の恐れがあります。尚、車両重量が1800kgを超える車は、摩耗が速く切れやすくなりますので、ご了承ください。
- タイヤと車体の間隔が40mm以上ないと装着できません。(図1) 走行中にチェーンが車体と接触し破損や事故などを起こす恐れがあります。純正サイズ以外のタイヤ・ホイールやローダウン車などの場合は特に注意して下さい。尚、前輪に装着の場合、ハンドルを左右に切った状態でも確認が必要です。
- 坂道や路肩などでの作業は事故の原因となり大変危険です。安全が確保できる平坦な場所やチェーン脱着所などで行って下さい。
- 違う種類のチェーンや片輪のみの装着はしないで下さい。走行中にコントロールを失い、事故などを引き起こす恐れがあります。
- チェーンの装着は、必ず駆動輪に取付けて下さい。前輪駆動車は「前輪」、後輪駆動車は「後輪」です。4輪駆動車や駆動輪がご不明な場合は、車両の「取扱説明書」に従って下さい。
- 装着が不完全な状態で走行すると、十分な性能を発揮しないばかりか、チェーンや車両の破損や事故などを引き起こす恐れがあります。しっかりと確実に装着して下さい。
- 無雪路等では使用しないで下さい。チェーンが破損しやすくなるばかりか、車両の走行性能が極端に低下し事故などを引き起こす恐れがあり大変危険です。雪がなくなったら、できるだけ早くチェーンを取り外して下さい。また、非舗装道路等(段差／緑石／砂利道)においても使用しないで下さい。
- 時速40km以上で走行するとチェーンが遠心力で膨らみ、車体に接触する恐れがあるとともに、耐久性を著しく低下させ破損の原因となります。また、スピードを出しすぎると車両の安定性が失われ大変危険です。事故などにつながる恐れがありますのでお止め下さい。路面状況に応じては、それ以下に減速して走行して下さい。
- 急発進(空転を含む)・急加速・急ハンドル・急制動などは車体への接触やチェーンの破損原因となり、事故などにつながる恐れもあります。やむを得ずこのような運転操作を行った場合や、走行中に異音が発生した場合は、安全な場所に停止してチェーンの状態をよく確認して下さい。
- 雪道ではチェーンを装着していても走行性能が大幅に低下します。慎重な運転を心掛けて下さい。

- 必ずタイヤに適合したサイズをご使用下さい。タイヤサイズが適合していてもタイヤの空気圧・摩耗量・ホイールのリム幅等によって多少異なる場合があります。また、スタッドレスタイヤは夏タイヤと同サイズでも、本製品が装着できない場合があります。ご使用前に必ず装着テストを行って下さい。
- 本製品を使用することにより、タイヤ・ホイール・ホイールカバーをキズ付ける場合があります。ホイールカバーは取り外してご使用下さい。
- 本製品を使用するとタイヤ表面の変形や削れなどが起きる場合があります。特に著しくタイヤの溝が減っている車両には使用しないで下さい。
- スノーヘルパー(雪道脱出具)との併用は、チェーンの破損や車体への損傷を引き起こす恐れがありますので併用しないで下さい。

◆取付手順



チェーンを広げ、ねじれや絡みがないことを必ず確認して下さい。

ケーブルジョイントを開き、黄色いパイプを先にしてタイヤの下部左側からタイヤの裏側に通し、ケーブルが左右均等になるように置き、チェーンが絡まないよう整えます。

ケーブルジョイントの両端を持って広げながら持ち上げ、タイヤ上部手前で連結します。その際、ケーブルジョイントが相手側の金具に確実に挿入され抜けない状態になっていることを確認して下さい。



クロスチェーンを手前にし、左側のジョイントフック(緑)とサイドチェーン(黄)を連結します。

ケーブルをタイヤの裏側側面まで移動(落とし込み)し、かぶり深さが均一になるように整えます。この時、縦方向チェーンがまっすぐになるように整えて下さい。

※ケーブルがタイヤ接地面にかからないようにして下さい。



リードチェーン(赤)をスライドギアにかけて引っ張り、締め付けます。

※ゴム切断を防ぐため、必ずリードチェーンを持って締め付けて下さい。

リードチェーン(赤)をリング(赤)に通し、引っ張った状態で折り返し、そのままカギフックを対角線上のサイドチェーン(黄)に掛けます。

※その際、チェーンを引っ張ってゆるみの無い状態にして下さい。



リードチェーン先端部にあるカギフックをかけたサイドチェーンにたるみがある(ゆるい)場合は、図のようにしてジョイントフック(緑)に掛けるコマの位置で調整することができます。

リングAのみ使用



リングBのみ使用



リングA・B両方使用



リードチェーン(赤)の長さに応じて、リング(赤)A・Bにリードチェーン(赤)を通してから、フックの先をサイドチェーン(黄)にかけて下さい。

◆取付状態の確認

- ①サイドチェーンとクロスチェーンのつなぎのコマの向きを確認して下さい。NGの状態はチェーンが裏返しです。
- ②ゆっくりと100m程度走行させ、チェーンの装着状態を確認します。
- ※チェーンにたるみがある場合、たるみがなくなるまで増し締めをします。
- ③増し締め後、スライドギアがリードチェーン(赤)の付け根部分いっぱいまで締まっている場合はチェーンがタイヤに対し、ゆるい場合がありますのでご購入頂きました販売店にて確認して下さい。
- ※チェーンがゆるい状態での走行は、車両やチェーンの損傷、事故の原因となります。
- ④チェーン全体にねじれや絡みがないかを確認して下さい。

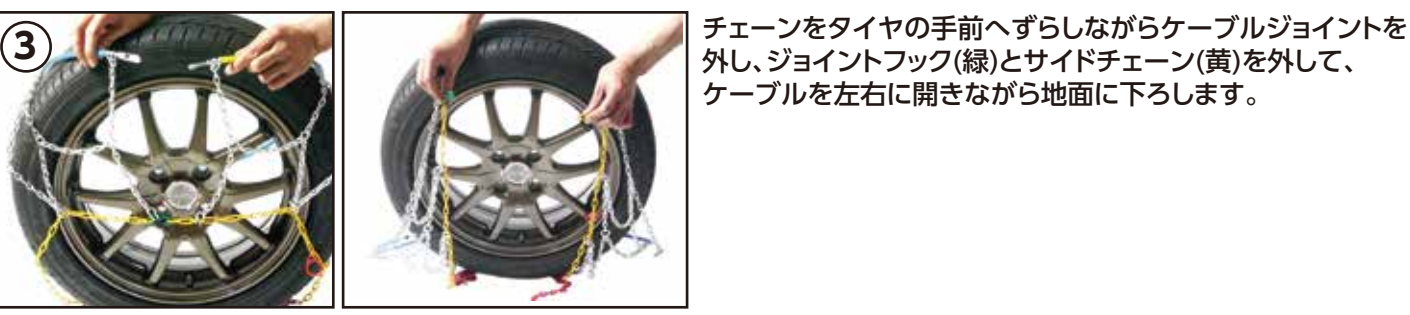


◆取外し手順



スライドギアの接続部分がタイヤ接地面近くになるように車を止めます。

リードチェーン先端のカギフックを外し、リードチェーン(赤)をリングとスライドギアから外します。



④ケーブルを地面に対して平らになるようにした後、チェーンが踏まれていなければ、そのまま抜き取ります。チェーンが踏まれている場合、各フック等を踏まないように注意しゆっくりと車両を移動して下さい。

◆使用限度と保管方法

△注意

●チェーンは消耗品です。ご使用の都度、必ず破損の有無や摩耗量を確認して下さい。1箇所でも破損があったり摩耗量が50%程度になれば寿命ですので使用しないで下さい。

●万一、走行中にチェーンが切れた場合は、一時的に付属の補修リングで結合して下さい。結合方法は、切れたリングの両端を補修リングで結び、ペンチやプライヤー等で締め付けて下さい。

※補修リングはあくまでも一時的な応急処置です。継続使用することせず、お早めに新しいチェーンをお買い求め下さい。

50%摩耗したら使わない!!

補修リング

クロスチェーン用 サイドチェーン用

◆こんなときは?

①うまく取付けができない。

考えられる原因	参照事項
チェーンがねじれている	ねじれや絡みをなくし取り付け。
チェーンの接地面がずれている	P2. 取付け手順 ⑤を参照のうえ調整する。
チェーンのかかりが不均等である	P2. 取付け手順 ⑤を参照のうえ調整する。
適合サイズが違う	適合サイズに合ったものを使用する。

②走行中に接音音が発生する。

考えられる原因	参照事項
時速40キロ以上のスピードで走行した	時速40キロ以下で走行する
タイヤと車体との隙間が不十分である	車体の間隔が40mm以上あることを確認する
チェーンにたるみがある	P2. 取付け手順 ⑥⑦を参照のうえ調整する。
ホイールカバーを外さずに取り付けた	ホイールカバーは外して取り付ける
適合サイズが違う	適合サイズに合ったものを使用する

③下記を行うとチェーンの主な破損原因となりますので行わないで下さい。

- ・装着が不完全な状態での走行。
- ・非舗装道路(段差／緑石／砂利道)での走行。
- ・時速40キロ以上のスピードでの走行。
- ・雪がなくなったあとも取り外しをせずに、そのまま走行。
- ・摩耗限度(使用限度)を超えての使用。
- ・スノーヘルパー(雪道脱出具)の併用。
- ・取外す時の車両移動時にフック等を踏む。
- ・急発進(空転を含む)・急加速・急ハンドル・急制動などの操作。

△誤った取付け方法および使用方法による事故や損害等については、一切責任を負いません。

ご自分での修理、改造などは絶対にやめください。

・仕様は予告なしに変更することがあります。

◆万が一、事故や損害が発生した場合について

万が一、本製品の欠陥が原因となり事故や損害が発生した場合は、直ちに発売元までご連絡下さい。また、原因の究明にあたって、下記のような必要最小限の情報のご提供や、現品の回収をお願いする事があります。調査前に処分されないようお願い致します。

- 事故の詳細
- 使用状況
- 現品回収
- 損害のあった物の写真
- 医療機関の診断書
- その他、事故や損害の状況に応じて必要な情報など

商品のお問い合わせは...

受付時間：平日 9 時～18 時 (土日祝・年末年始除く)

050-3505-8877

JAAMA 全国自動車用品工業会会員

ニューレイトン株式会社

〒133-0065 東京都江戸川区南篠崎町4-14-11

TEL 03-3676-2991 FAX 03-3676-2996

http://www.newrayton.co.jp/

Ice Bahn

軽トラック
軽バン用

アイスバーン
らくらく商用車用タイヤチェーン

取扱説明書

この度は、「アイスバーン・らくらく商用車用タイヤチェーン」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にご使用頂くために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ずお読み下さい。
万一、製品の不具合・付属品の不足などがございましたら、直ちに使用を中止しお買い上げの販売店にご相談下さい。

- ◆セット内容
- ※本製品には以下のパーツが入っています。
- | | |
|---|----------------------|
| 1 | チェーン本体 (2本) |
| 2 | 取扱説明書 (本書) |
| 3 | 車手 (1双)・腕カパー (1双) |
| 4 | 補修パーツ (クロス用／サイド用各2個) |

◆各部名称

- ①クロスチェーン
- ②サイドチェーン(黄)
- ③ジョイントフック(緑)
- ④スライドギア(赤)
- ⑤リードチェーン(赤)
- ⑥カギフック
- ⑦ケーブルジョイント
- ⑧ケーブル(青)
- ⑨リング(赤)A
- ⑩リング(赤)B



◆安全上のご注意

- 本製品を正しく安全にご使用頂くため、ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みになり、よく理解したうえで正しくお使い下さい。
- この取扱説明書は大切に保管のうえ、ご使用中に分らなくなった時など、必要な都度、お読み返し下さい。また、他の人が使用する場合も同様です。
- ここに示す注意事項は、本製品を正しく安全にご使用頂くためのもので、火災、ケガなどを未然に防止するものです。

◆使用上の注意と警告マーク

△警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容 を示します。
△注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、 人が損害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害の発生が想定される内容 を示します。

◆ご使用前の注意と警告

- △警告
- 本製品は軽トラック・軽バン用です。それ以外の自動車には使用しないで下さい。無理に使用されるとチェーンの破損や事故の恐れがあります。尚、重量があるほど軽量車両と比較した場合、チェーンの摩耗が早くなります。
 - タイヤと車体の間隔が40mm以上ないと装着できません。(図1) 走行中にチェーンが車体と接触し破損や事故などを起こす恐れがあります。純正サイズ以外のタイヤ・ホイールやローダウン車などの場合は特に注意して下さい。尚、前輪に装着の場合、ハンドルを左右に切った状態でも確認が必要です。
 - 坂道や路肩などでの作業は事故の原因となり大変危険です。安全が確保できる平坦な場所やチェーン脱着所などで行って下さい。
 - 違う種類のチェーンや片輪のみの装着はしないで下さい。走行中にコントロールを失い、事故などを引き起こす恐れがあります。
 - チェーンの装着は、必ず駆動輪に取付けて下さい。前輪駆動車は「前輪」、後輪駆動車は「後輪」です。4輪駆動車や駆動輪が不明な場合は、車両の「取扱説明書」に従って下さい。
 - 装着が不完全な状態で走行すると、十分な性能を発揮しないばかりか、チェーンや車両の破損や事故などを引き起こす恐れがあります。しっかりと確実に装着して下さい。
 - 無雪路等では使用しないで下さい。チェーンが破損しやすくなるばかりか、車両の走行性能が極端に低下し事故などを引き起こす恐れがあり大変危険です。雪がなくなったら、できるだけ早くチェーンを取り外して下さい。また、非舗装道路等(段差／縁石／砂利道)においても使用しないで下さい。
 - 時速30km以上で走行するとチェーンが遠心力で膨らみ、車体に接触する恐れがあるとともに、耐久性を著しく低下させ破損の原因となります。また、スピードを出しすぎると車両の安定性が失われ大変危険です。事故などにつながる恐れがありますのでお止め下さい。路面状況に応じては、それ以下に減速して走行して下さい。
 - 急発進(空転を含む)・急加速・急ハンドル・急制動などは車体への接触やチェーンの破損原因となり、事故などにつながる恐れもあります。やむを得ずこのような運転操作を行った場合や、走行中に異音が発生した場合は、安全な場所に停止してチェーンの状態をよく確認して下さい。
 - 雪道ではチェーンを装着していても走行性能が大幅に低下します。慎重な運転を心掛けて下さい。

- △注意
- 必ずタイヤに適合したサイズをご使用下さい。タイヤサイズが適合していてもタイヤの空気圧・摩耗量・ホイールのリム幅等によって多少異なる場合があります。また、スタッドレスタイヤは夏タイヤと同サイズでも、本製品が装着できない場合があります。
 - 本製品を使用することにより、タイヤ・ホイール・ホイールカバーをキズ付ける場合があります。ホイールカバーは取り外してご使用下さい。
 - 本製品を使用するとタイヤ表面の変形や割れなどが起きる場合があります。特に著しくタイヤの溝が減っている車両には使用しないで下さい。
 - スノーヘルパー(雪道脱出具)との併用は、チェーンの破損や車体への損傷を引き起こす恐れがありますので併用しないで下さい。

◆取付手順



チェーンを広げ、ねじれや絡みがないことを必ず確認して下さい。

ケーブルジョイントを開き、黄色いパイプを先にしてタイヤの下部左側からタイヤの裏側に通し、ケーブルが左右均等になるように置き、チェーンが絡まないよう整えます。

ケーブルジョイントの両端を持って広げながら持ち上げ、タイヤ上部手前で連結します。その際、ケーブルジョイントが相手側の金具に確実に挿入され抜けない状態になっていることを確認して下さい。



クロスチェーンを手前にし、左側のジョイントフック(緑)とサイドチェーン(黄)を連結します。

ケーブルをタイヤの裏側側面まで移動(落とし込み)し、かぶり深さが均一になるように整えます。この時、縦方向チェーンがまっすぐになるように整えて下さい。

※ケーブルがタイヤ接地面にかからないようにして下さい。



リードチェーン(赤)をスライドギアにかけ、引っ張り、締め付けます。

※ゴム切断を防ぐため、必ずリードチェーンを持って締め付けて下さい。

リードチェーン(赤)をリング(赤)に通し、引っ張った状態で折り返し、そのままカギフックを対角線上のサイドチェーン(黄)に掛けます。

※その際、チェーンを引っ張ってゆるみの無い状態にして下さい。



リードチェーン先端部にあるカギフックをかけたサイドチェーンにたるみがある(ゆるい)場合は、図のようにしてジョイントフック(緑)に掛けるコマの位置で調整することができます。



リングAのみ使用

リングBのみ使用

リングA・B両方使用

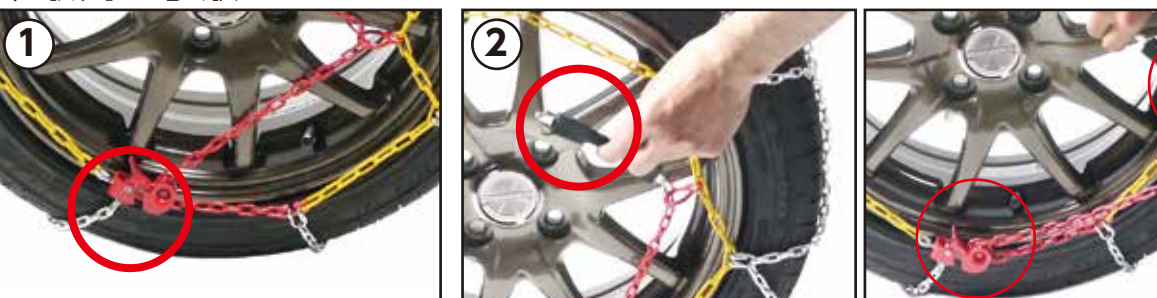
リードチェーン(赤)の長さに応じて、リング(赤)A・Bにリードチェーン(赤)を通してから、フックの先をサイドチェーン(黄)にかけて下さい。

◆取付状態の確認

- ①サイドチェーンとクロスチェーンのつなぎのコマの向きを確認して下さい。NGの状態はチェーンが裏返しです。
- ②ゆっくりと100m程度走行させ、チェーンの装着状態を確認します。
- ※チェーンにたるみがある場合、たるみがなくなるまで増し締めをします。
- ③増し締め後、スライドギアがリードチェーン(赤)の付け根部分いっぱいまで締まっている場合はチェーンがタイヤに対し、ゆるい場合がありますのでご購入頂きました販売店にて確認して下さい。
- ※チェーンがゆるい状態での走行は、車両やチェーンの損傷、事故の原因となります。
- ④チェーン全体にねじれや絡みがないかを確認して下さい。



◆取外し手順



スライドギアの接続部分がタイヤ接地面近くになるように車を止めます。

リードチェーン先端のカギフックを外し、リードチェーン(赤)をリングとスライドギアから外します。



④ケーブルを地面に対して平らになるようにした後、チェーンが踏まれていなければ、そのまま抜き取ります。チェーンが踏まれている場合、各フック等を踏まないように注意しゆっくりと車両を移動して下さい。

◆使用限度と保管方法

△注意

●チェーンは消耗品です。ご使用の都度、必ず破損の有無や摩耗量を確認して下さい。1箇所でも破損があったり摩耗量が50%程度になれば寿命ですので使用しないで下さい。

●万一、走行中にチェーンが切れた場合は、一時的に付属の補修リングで結合して下さい。結合方法は、切れたリングの両端を補修リングで結び、ベンチやプライヤー等で締め付けて下さい。

※補修リングはあくまでも一時的な応急処置です。継続使用することにはせず、お早めに新しいチェーンをお買い求め下さい。

50%摩耗したら使わない!!

補修リング

クロスチェーン用

サイドチェーン用

◆こんなときは？

①うまく取付けできない。

考えられる原因	参照事項
チェーンがねじれている	ねじれや絡みをなくし取り付け。
チェーンの接地面がずれている	P2. 取付け手順 ⑤を参照のうえ調整する。
チェーンのかりが不均等である	P2. 取付け手順 ⑤を参照のうえ調整する。
適合サイズが違う	適合サイズに合ったものを使用する。

②走行中に接触音が発生する。

考えられる原因	参照事項
時速30キロ以上のスピードで走行した	時速30キロ以下で走行する
タイヤと車体との間隔が不十分である	車体の間隔が40mm以上あることを確認する
チェーンにたるみがある	P2. 取付け手順 ⑥⑦を参照のうえ調整する。
ホイールカバーを外さずに取り付けた	ホイールカバーは外して取り付け
適合サイズが違う	適合サイズに合ったものを使用する

③下記を行うとチェーンの主な破損原因となりますので行わないで下さい。

- ・装着が不完全な状態で走行。
- ・非舗装道路(段差／縁石／砂利道)での走行。
- ・時速30キロ以上のスピードでの走行。
- ・雪が無くなったあとでも取り外しをせずに、そのまま走行。
- ・摩耗限度(使用限度)を超えての使用。
- ・軽トラック・軽バン以外の車両に使用。
- ・スノーヘルパー(雪道脱出具)の併用。
- ・取外す時の車両移動時にフック等を踏む。
- ・急発進(空転を含む)・急加速・急ハンドル・急制動などの操作。

- △
- ・誤った取付け方法および使用方法による事故や損害等については、一切責任を負いません。
 - ・ご自分での修理、改造などは絶対におやめください。
 - ・仕様は予告なしに変更することがあります。

◆万が一、事故や損害が発生した場合について

万が一、本製品の欠陥が原因となり事故や損害が発生した場合は、直ちに発売元までご連絡下さい。また、原因の究明にあたって、下記のような必要最小限の情報のご提供や、現品の回収をお願いする事があります。調査前に処分されないようお願い致します。

- 事故の詳細
- 使用状況
- 現品回収
- 損害のあった物の写真
- 医療機関の診断書
- その他、事故や損害の状況に応じて必要な情報など

商品のお問い合わせは...

受付時間：平日9時～18時(土日祝・年末年始除く)

カスタムセンター ☎050-3505-8877

JAAMA 全国自動車用品工業会会員

ニューレイトン株式会社

〒133-0065 東京都江戸川区南篠崎町4-14-11

TEL 03-3676-2991 FAX 03-3676-2996

http://www.newrayton.co.jp/

Ice Bahn

ハイエースジャストロー
NV350/キャラバン平床
ボンゴ用

アイスバーン
らくらく商用車用タイヤチェーン

取扱説明書

この度は、「アイスバーン・らくらく商用車用タイヤチェーン」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にご使用頂くために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ずお読み下さい。
万一、製品の不具合・付属品の不足などがございましたら、直ちに使用を中止しお買い上げの販売店にご相談下さい。

- ◆セット内容
- ※本製品には以下のパーツが入っています。
- | | |
|---|----------------------|
| 1 | チェーン本体 (2本) |
| 2 | 取扱説明書 (本書) |
| 3 | 車手 (1双)/腕カパー(1双) |
| 4 | 補修パーツ (クロス用/サイド用各2個) |

◆各部名称

- ①クロスチェーン
- ②サイドチェーン(黄)
- ③ジョイントフック(緑)
- ④スライドギア(赤)
- ⑤リードチェーン(赤)
- ⑥カギフック
- ⑦ケーブルジョイント
- ⑧ケーブル(青)
- ⑨リング(赤)A
- ⑩リング(赤)B



◆安全上のご注意

- 本製品を正しく安全にご使用頂くため、ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みになり、よく理解したうえで正しくお使い下さい。
- この取扱説明書は大切に保管のうえ、ご使用中に分らなくなった時など、必要な都度、お読み返し下さい。また、他の人が使用する場合も同様です。
- ここに示す注意事項は、本製品を正しく安全にご使用頂くためのもので、火災、ケガなどを未然に防止するものです。

◆使用上の注意と警告マーク

△警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容 を示します。
△注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、 人が損害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害の発生が想定される内容 を示します。

◆ご使用前の注意と警告

- 本製品はハイエースジャストロー・キャラバン平床・ボンゴ専用です。それ以外の自動車には使用しないで下さい。無理に使用されるとチェーンの破損や事故の恐れがあります。尚、重量があるほど軽量車両と比較した場合、チェーンの摩耗が早くなります。
- タイヤと車体の間隔が40mm以上ないと装着できません。(図1) 走行中にチェーンが車体と接触し破損や事故などを起こす恐れがあります。純正サイズ以外のタイヤ・ホイールやローダウン車などの場合は特に注意して下さい。尚、前輪に装着の場合、ハンドルを左右に切った状態でも確認が必要です。
- 坂道や路肩などでの作業は事故の原因となり大変危険です。安全が確保できる平坦な場所やチェーン脱着所などで行って下さい。
- 違う種類のチェーンや片輪のみの装着はしないで下さい。走行中にコントロールを失い、事故などを引き起こす恐れがあります。
- チェーンの装着は、必ず駆動輪に取付けて下さい。前輪駆動車は「前輪」、後輪駆動車は「後輪」です。4輪駆動車や駆動輪が不明な場合は、車両の「取扱説明書」に従って下さい。
- 装着が不完全な状態で走行すると、十分な性能を発揮しないばかりか、チェーンや車両の破損や事故などを引き起こす恐れがあります。しっかりと確実に装着して下さい。
- 無雪路等では使用しないで下さい。チェーンが破損しやすくなるばかりか、車両の走行性能が極端に低下し事故などを引き起こす恐れがあり大変危険です。雪がなくなったら、できるだけ早くチェーンを取り外して下さい。また、非舗装道路等(段差/縁石/砂利道)においても使用しないで下さい。
- 時速30km以上で走行するとチェーンが遠心力で膨らみ、車体に接触する恐れがあると共に、耐久性を著しく低下させ破損の原因となります。また、スピードを出しすぎると車両の安定性が失われ大変危険です。事故などにつながる恐れがありますのでお止め下さい。路面状況に応じては、それ以下に減速して走行して下さい。
- 急発進(空転を含む)・急加速・急ハンドル・急制動などは車体への接触やチェーンの破損原因となり、事故などにつながる恐れもあります。やむを得ずこのような運転操作を行った場合や、走行中に異音が発生した場合は、安全な場所に停止してチェーンの状態をよく確認して下さい。
- 雪道ではチェーンを装着していても走行性能が大幅に低下します。慎重な運転を心掛けて下さい。

- △警告
- △注意
- 必ずタイヤに適合したサイズをご使用下さい。タイヤサイズが適合していてもタイヤの空気圧・摩耗量・ホイールのリム幅等によって多少異なる場合があります。また、スタッドレスタイヤは夏タイヤと同サイズでも、本製品が装着できない場合があります。
 - 本製品を使用することにより、タイヤ・ホイール・ホイールカバーをキズ付ける場合があります。ホイールカバーは取り外してご使用下さい。
 - 本製品を使用するとタイヤ表面の変形や割れなどが起きる場合があります。特に著しくタイヤの溝が減っている車両には使用しないで下さい。
 - スノーヘルパー(雪道脱出具)との併用は、チェーンの破損や車体への損傷を引き起こす恐れがありますので併用しないで下さい。

◆取付手順



チェーンを広げ、ねじれや絡みがないことを必ず確認して下さい。

ケーブルジョイントを開き、黄色いパイプを先にしてタイヤの下部左側からタイヤの裏側に通し、ケーブルが左右均等になるように置き、チェーンが絡まないよう整えます。

ケーブルジョイントの両端を持って広げながら持ち上げ、タイヤ上部手前で連結します。その際、ケーブルジョイントが相手側の金具に確実に挿入され抜けない状態になっていることを確認して下さい。



クロスチェーンを手前にし、左側のジョイントフック(緑)とサイドチェーン(黄)を連結します。

ケーブルをタイヤの裏側側面まで移動(落とし込み)し、かぶり深さが均一になるように整えます。この時、縦方向チェーンがまっすぐになるように整えて下さい。

※ケーブルがタイヤ接地面にかからないようにして下さい。



リードチェーン(赤)をスライドギアにかけ、引っ張り、締め付けます。

※ゴム切断を防ぐため、必ずリードチェーンを持って締め付けて下さい。

リードチェーン(赤)をリング(赤)に通し、引っ張った状態で折り返し、そのままカギフックを対角線上のサイドチェーン(黄)に掛けます。

※その際、チェーンを引っ張ってゆるみの無い状態にして下さい。



リードチェーン先端部にあるカギフックをかけたサイドチェーンにたるみがある(ゆるい)場合は、図のようにしてジョイントフック(緑)に掛けるコマの位置で調整することができます。

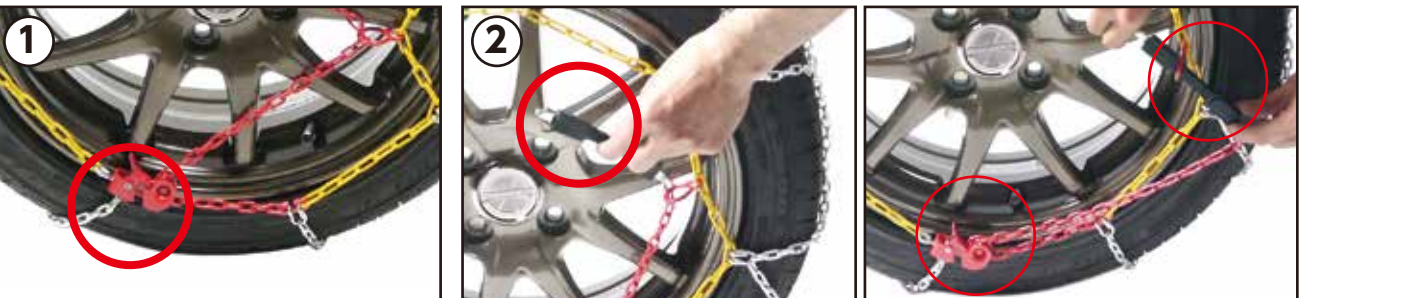


◆取付状態の確認

- ①サイドチェーンとクロスチェーンのつなぎのコマの向きを確認して下さい。NGの状態はチェーンが裏返しです。
- ②ゆっくりと100m程度走行させ、チェーンの装着状態を確認します。
- ※チェーンにたるみがある場合、たるみがなくなるまで増し締めをします。
- ③増し締め後、スライドギアがリードチェーン(赤)の付け根部分いっぱいまで締まっている場合はチェーンがタイヤに対し、ゆるい場合がありますのでご購入頂きました販売店にて確認して下さい。
- ※チェーンがゆるい状態での走行は、車両やチェーンの損傷、事故の原因となります。
- ④チェーン全体にねじれや絡みがないかを確認して下さい。

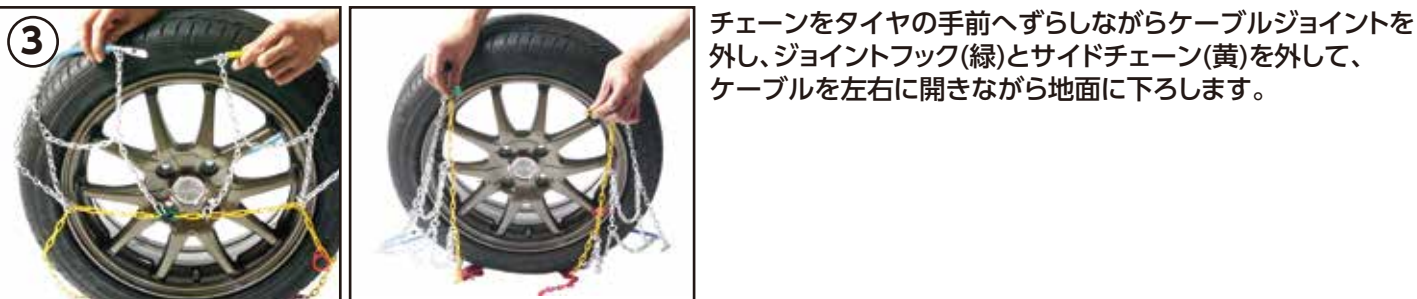


◆取外し手順



スライドギアの接続部分がタイヤ接地面近くになるように車を止めます。

リードチェーン先端のカギフックを外し、リードチェーン(赤)をリングとスライドギアから外します。



④ケーブルを地面に対して平らになるようにした後、チェーンが踏まれていなければ、そのまま抜き取ります。チェーンが踏まれている場合、各フック等を踏まないように注意しゆっくりと車両を移動して下さい。

◆使用限度と保管方法

△注意

●チェーンは消耗品です。ご使用の都度、必ず破損の有無や摩耗量を確認して下さい。1箇所でも破損があったり摩耗量が50%程度になれば寿命ですので使用しないで下さい。

●万一、走行中にチェーンが切れた場合は、一時的に付属の補修リングで結合して下さい。結合方法は、切れたリングの両端を補修リングで結び、ベンチやプライヤー等で締め付けて下さい。

※補修リングはあくまでも一時的な応急処置です。継続使用することにはせず、お早めに新しいチェーンをお買い求め下さい。

50%摩耗したら使わない!!

補修リング

クロスチェーン用

サイドチェーン用

◆こんなときは？

- ①うまく取付けできない。

考えられる原因	参照事項
チェーンがねじれている	ねじれや絡みをなくし取り付け。
チェーンの接地面がずれている	P2. 取付け手順 ⑤を参照のうえ調整する。
チェーンのかりが不均等である	P2. 取付け手順 ⑤を参照のうえ調整する。
適合サイズが違う	適合サイズに合ったものを使用する。

②走行中に接触音が発生する。

考えられる原因	参照事項
時速30キロ以上のスピードで走行した	時速30キロ以下で走行する
タイヤと車体との間隔が不十分である	車体の間隔が40mm以上あることを確認する
チェーンにたるみがある	P2. 取付け手順 ⑥⑦を参照のうえ調整する。
ホイールカバーを外さずに取り付けた	ホイールカバーは外して取り付け
適合サイズが違う	適合サイズに合ったものを使用する

③下記を行うとチェーンの主な破損原因となりますので行わないで下さい。

- ・装着が不完全な状態での走行。
- ・非舗装道路(段差/縁石/砂利道)での走行。
- ・時速30キロ以上のスピードでの走行。
- ・雪が無くなったあとでも取り外しをせずに、そのまま走行。
- ・摩耗限度(使用限度)を超えての使用。
- ・ハイエースジャストロー・NV350/キャラバン平床・ボンゴ以外の車両に使用。
- ・スノーヘルパー(雪道脱出具)の併用。
- ・取外す時の車両移動時にフック等を踏む。
- ・急発進(空転を含む)・急加速・急ハンドル・急制動などの操作。

- △
- ・誤った取付け方法および使用方法による事故や損害等については、一切責任を負いません。
 - ・ご自分での修理、改造などは絶対におやめください。
 - ・仕様は予告なしに変更することがあります。

◆万が一、事故や損害が発生した場合について

万が一、本製品の欠陥が原因となり事故や損害が発生した場合は、直ちに発売元までご連絡下さい。また、原因の究明にあたって、下記のような必要最小限の情報のご提供や、現品の回収をお願いする事があります。調査前に処分されないようお願い致します。

- 事故の詳細
- 使用状況
- 現品回収
- 損害のあった物の写真
- 医療機関の診断書
- その他、事故や損害の状況に応じて必要な情報など

商品のお問い合わせは...

受付時間：平日9時～18時(土日祝・年末年始除く)

カスタムセンター ☎050-3505-8877

JAAMA 全国自動車用品工業会会員

ニューレイトン株式会社

〒133-0065 東京都江戸川区南篠崎町4-14-11

TEL 03-3676-2991 FAX 03-3676-2996

http://www.newrayton.co.jp/

Ice Bahn

ハイース NV350/キャラバン用

アイスバーン らくらく商用車用タイヤチェーン 取扱説明書

この度は、「アイスバーン・らくらく商用車用タイヤチェーン」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にご使用頂くために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ずお読み下さい。
万一、製品の不具合・付属品の不足などがございましたら、直ちに使用を中止しお買い上げの販売店にご相談下さい。

- ◆セット内容
- ※本製品には以下のパーツが入っています。
- | | |
|---|----------------------|
| 1 | チェーン本体 (2本) |
| 2 | 取扱説明書 (本書) |
| 3 | 車手 (1双)/腕カパー(1双) |
| 4 | 補修パーツ (クロス用/サイド用各2個) |
- ◆各部名称
- ①クロスチェーン
 - ②サイドチェーン(黄)
 - ③ジョイントフック(緑)
 - ④スライドギア(赤)
 - ⑤リードチェーン(赤)
 - ⑥カギフック
 - ⑦ケーブルジョイント
 - ⑧ケーブル(青)
 - ⑨リング(赤)A
 - ⑩リング(赤)B

◆安全上のご注意

- 本製品を正しく安全にご使用頂くため、ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みになり、よく理解したうえで正しくお使い下さい。
- この取扱説明書は大切に保管のうえ、ご使用中に分らなくなった時など、必要な都度、お読み返し下さい。また、他の人が使用する場合も同様です。
- ここに示す注意事項は、本製品を正しく安全にご使用頂くためのもので、火災、ケガなどを未然に防止するものです。

◆使用上の注意と警告マーク

△警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容 を示します。
△注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、 人が損害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害の発生が想定される内容 を示します。

◆ご使用前の注意と警告

- 本製品はハイース・キャラバン専用です。それ以外の自動車には使用しないで下さい。無理に使用されるとチェーンの破損や事故の恐れがあります。尚、重量があるほど軽量車両と比較した場合、チェーンの摩耗が早くなります。
- タイヤと車体の間隔が40mm以上ないと装着できません。(図1) 走行中にチェーンが車体と接触し破損や事故などを起こす恐れがあります。純正サイズ以外のタイヤ・ホイールやローダウン車などの場合は特に注意して下さい。尚、前輪に装着の場合、ハンドルを左右に切った状態でも確認が必要です。
- 坂道や路肩などでの作業は事故の原因となり大変危険です。安全が確保できる平坦な場所やチェーン脱着所などで行って下さい。
- 違う種類のチェーンや片輪のみの装着はしないで下さい。走行中にコントロールを失い、事故などを引き起こす恐れがあります。
- チェーンの装着は、必ず駆動輪に取付けて下さい。前輪駆動車は「前輪」、後輪駆動車は「後輪」です。4輪駆動車や駆動輪が不明な場合は、車両の「取扱説明書」に従って下さい。
- 装着が不完全な状態で走行すると、十分な性能を発揮しないばかりか、チェーンや車両の破損や事故などを引き起こす恐れがあります。しっかりと確実に装着して下さい。
- 無雪路等では使用しないで下さい。チェーンが破損しやすくなるばかりか、車両の走行性能が極端に低下し事故などを引き起こす恐れがあり大変危険です。雪がなくなったら、できるだけ早くチェーンを取り外して下さい。また、非舗装道路等(段差/縁石/砂利道)においても使用しないで下さい。
- 時速30km以上で走行するとチェーンが遠心力で膨らみ、車体に接触する恐れがあるとともに、耐久性を著しく低下させ破損の原因となります。また、スピードを出しすぎると車両の安定性が失われ大変危険です。事故などにつながる恐れがありますのでお止め下さい。路面状況に応じては、それ以下に減速して走行して下さい。
- 急発進(空転を含む)・急加速・急ハンドル・急制動などは車体への接触やチェーンの破損原因となり、事故などにつながる恐れもあります。やむを得ずこのような運転操作を行った場合や、走行中に異音が発生した場合は、安全な場所に停止してチェーンの状態をよく確認して下さい。
- 雪道ではチェーンを装着していても走行性能が大幅に低下します。慎重な運転を心掛けて下さい。

△警告

- 必ずタイヤに適合したサイズをご使用下さい。タイヤサイズが適合していてもタイヤの空気圧・摩耗量・ホイールのリム幅等によって多少異なる場合があります。また、スタッドレスタイヤは夏タイヤと同サイズでも、本製品が装着できない場合があります。
- 本製品を使用することにより、タイヤ・ホイール・ホイールカバーをキズ付ける場合があります。ホイールカバーは取り外してご使用下さい。
- 本製品を使用するとタイヤ表面の変形や割れなどが起きる場合があります。特に著しくタイヤの溝が減っている車両には使用しないで下さい。
- スノーヘルパー(雪道脱出具)との併用は、チェーンの破損や車体への損傷を引き起こす恐れがありますので併用しないで下さい。

△注意

◆取付手順

①黄色いパイプ

②黄色いパイプ

③ケーブルジョイントの両端を持って広げながら持ち上げ、タイヤ上部手前で連結します。その際、ケーブルジョイントが相手側の金具に確実に挿入され抜けない状態になっていることを確認して下さい。

チェーンを広げ、ねじれや絡みがないことを必ず確認して下さい。

ケーブルジョイントを開き、黄色いパイプを先にしてタイヤの下部左側からタイヤの裏側に通し、ケーブルが左右均等になるように置き、チェーンが絡まないよう整えます。

④クロスチェーンを手前にし、左側のジョイントフック(緑)とサイドチェーン(黄)を連結します。

⑤ケーブルをタイヤの裏側側面まで移動(落とし込み)し、かぶり深さが均一になるように整えます。この時、縦方向チェーンがまっすぐになるように整えて下さい。
※ケーブルがタイヤ接地面にかからないようにして下さい。

縦方向チェーン

ケーブルはタイヤの裏側に落とし込む

縦方向チェーン

タイヤの裏側

悪い例: ケーブルがタイヤ接地面にかかっている

NG X

⑥リードチェーン(赤)をスライドギアにかけ、引っ張り、締め付けます。
※ゴム切断を防ぐため、必ずリードチェーンを持って締め付けて下さい。

⑦リードチェーン(赤)をリング(赤)に通し、引っ張った状態で折り返し、そのままカギフックを対角線上のサイドチェーン(黄)に掛けます。
※その際、チェーンを引っ張ってゆるみの無い状態にして下さい。

通常の場合

ゆるい場合は調整

リードチェーン先端部にあるカギフックをかけたサイドチェーンにたるみがある(ゆるい)場合は、図のようにしてジョイントフック(緑)に掛けるコマの位置で調整することができます。

リングAのみ使用

リングBのみ使用

リングA・B両方使用

リードチェーン(赤)の長さに応じて、リング(赤)A・Bにリードチェーン(赤)を通してから、フックの先をサイドチェーン(黄)にかけて下さい。

◆取付状態の確認

①サイドチェーンとクロスチェーンのつなぎのコマの向きを確認して下さい。NGの状態はチェーンが裏返しです。

②ゆっくりと100m程度走行させ、チェーンの装着状態を確認します。
※チェーンにたるみがある場合、たるみがなくなるまで増し締めをします。

③増し締め後、スライドギアがリードチェーン(赤)の付け根部分いっぱいまで締まっている場合はチェーンがタイヤに対し、ゆるい場合がありますのでご購入頂きました販売店にて確認して下さい。
※チェーンがゆるい状態での走行は、車両やチェーンの損傷、事故の原因となります。

④チェーン全体にねじれや絡みがないかを確認して下さい。

悪い例: コマが内側に向いてかかっている

OK

良い例: コマが外側に向いてかかっている

悪い例: チェーンの絡み、ねじれがある

悪い例: スライドギアが接地面にかかっている。

悪い例: スライドギアがリードチェーン(赤)の付け根部分いっぱいまで締まっている

◆取外し手順

①スライドギアの接続部分がタイヤ接地面近くになるように車を止めます。

②リードチェーン先端のカギフックを外し、リードチェーン(赤)をリングとスライドギアから外します。

③チェーンをタイヤの手前へずらしながらケーブルジョイントを外し、ジョイントフック(緑)とサイドチェーン(黄)を外して、ケーブルを左右に開きながら地面に下ろします。

スライドギアの接続部分がタイヤ接地面近くになるように車を止めます。

リードチェーン先端のカギフックを外し、リードチェーン(赤)をリングとスライドギアから外します。

チェーンをタイヤの手前へずらしながらケーブルジョイントを外し、ジョイントフック(緑)とサイドチェーン(黄)を外して、ケーブルを左右に開きながら地面に下ろします。

④ケーブルを地面に対して平らになるようにした後、チェーンが踏まれていなければ、そのまま抜き取ります。チェーンが踏まれている場合、各フック等を踏まないように注意しゆっくりと車両を移動して下さい。

◆使用限度と保管方法

△注意

●チェーンは消耗品です。ご使用の都度、必ず破損の有無や摩耗量を確認して下さい。1箇所でも破損があったり摩耗量が50%程度になれば寿命ですので使用しないで下さい。

●万一、走行中にチェーンが切れた場合は、一時的に付属の補修リングで結合して下さい。結合方法は、切れたリングの両端を補修リングで結び、ベンチやプライヤー等で締め付けて下さい。
※補修リングはあくまでも一時的な応急処置です。継続使用することにはせず、お早めに新しいチェーンをお買い求め下さい。

50%摩耗したら使わない!!

摩耗量

線径

補修リング

クロスチェーン用

サイドチェーン用

◆こんなときは?

①うまく取付けできない。

考えられる原因	参照事項
チェーンがねじれている	ねじれや絡みをなくし取り付け。
チェーンの接地面がずれている	P2. 取付け手順 ⑤を参照のうえ調整する。
チェーンのかりが不均等である	P2. 取付け手順 ⑤を参照のうえ調整する。
適合サイズが違う	適合サイズに合ったものを使用する。

②走行中に接触音が発生する。

考えられる原因	参照事項
時速30キロ以上のスピードで走行した	時速30キロ以下で走行する
タイヤと車体との間隔が不十分である	車体の間隔が40mm以上あることを確認する
チェーンにたるみがある	P2. 取付け手順 ⑥⑦を参照のうえ調整する。
ホイールカバーを外さずに取り付けした	ホイールカバーは外して取り付け
適合サイズが違う	適合サイズに合ったものを使用する

③下記を行うとチェーンの主な破損原因となりますので行わないで下さい。

- ・装着が不完全な状態で走行。
- ・非舗装道路(段差/縁石/砂利道)での走行。
- ・時速30キロ以上のスピードでの走行。
- ・雪が無くなったあとでも取り外しをせずに、そのまま走行。
- ・摩耗限度(使用限度)を超えての使用。
- ・ハイース・NV350/キャラバン以外の車両に使用。
- ・スノーヘルパー(雪道脱出具)の併用。
- ・取外す時の車両移動時にフック等を踏む。
- ・急発進(空転を含む)・急加速・急ハンドル・急制動などの操作。

△ 誤った取付け方法および使用方法による事故や損害等については、一切責任を負いません。
・ご自分での修理、改造などは絶対におやめください。
・仕様は予告なしに変更することがあります。

◆万が一、事故や損害が発生した場合について

万が一、本製品の欠陥が原因となり事故や損害が発生した場合は、直ちに発売元までご連絡下さい。また、原因の究明にあたって、下記のような必要最小限の情報のご提供や、現品の回収をお願いする事があります。調査前に処分されないようお願い致します。

●事故の詳細	●損害のあった物の写真
●使用状況	●医療機関の診断書
●現品回収	●その他、事故や損害の状況に応じて必要な情報など

商品のお問い合わせは...

受付時間：平日9時～18時(土日祝・年末年始除く)

カスタムセンター ☎050-3505-8877

JAAMA 全国自動車用品工業会会員

ニューレイトン株式会社

〒133-0065 東京都江戸川区南篠崎町4-14-11

TEL 03-3676-2991 FAX 03-3676-2996

http://www.newrayton.co.jp/

Ice Bahn

もっと楽々
アイスバーン
タートルチェーン

取扱説明書

この度は、「アイスバーン・タートルチェーン」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にご使用頂くために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ずお読み下さい。
万一、製品の不具合・付属品の不足などがございましたら、直ちに使用を中止しお買い上げの販売店にご相談下さい。

◆セット内容

※本製品には以下のパーツが入っています。

1	チェーン本体 (2本)
2	取扱説明書 (本書)
3	軍手 (1双)・腕力バー(1双)
4	補修パーツ (クロス用／サイド用各2個)

◆各部名称

①クロスチェーン(銀)
②サイドチェーン(黄)
③ジョイントフックA(緑)
④ワイヤーユニット(橙)
⑤ワイヤーヘッド(黄)
⑥OPENボタン(青)
⑦LOCKボタン(青)
⑧ジョイントフックB(青)
⑨ケーブルジョイント
⑩ケーブル(青)

④ワイヤーユニット
拡大図

◆安全上のご注意

●本製品を正しく安全にご使用頂くため、ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みになり、よく理解したうえで正しくお使い下さい。
●この取扱説明書は大切に保管のうえ、ご使用中に分からなくなったり時など、必要な都度、お読み返し下さい。また、他の人が使用する場合も同様です。
●ここに示す注意事項は、本製品を正しく安全にご使用頂くためのもので、火災、ケガなどを未然に防止するものです。

◆使用上の注意と警告マーク

△警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
△注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害の発生が想定される内容を示します。

◆ご使用前の注意と警告

●本製品は乗用車専用です。貨物自動車全般やトラック(1BOXバン含む)には使用しないで下さい。無理に使用されるとチェーンの破損や事故の恐れがあります。尚、車両重量が1,800kgを超える車は、摩耗が速く切れやすくなりますので、ご了承ください。
●タイヤと車体の間隔が40mm以上ないと装着できません。(図1)
走行中にチェーンが車体と接触し破損や事故などを起こす恐れがあります。純正サイズ以外のタイヤ・ホイールやローダウン車などの場合は特に注意して下さい。尚、前輪に装着の場合、ハンドルを左右に切った状態でも確認が必要です。
●坂道や路肩などでの作業は事故の原因となり大変危険です。安全が確保できる平坦な場所やチェーン脱着所などで行って下さい。
●違う種類のチェーンや片輪のみの装着はしないで下さい。走行中にコントロールを失い、事故などを引き起こす恐れがあります。
●チェーンの装着は、必ず駆動輪に取付けて下さい。前輪駆動車は「前輪」、後輪駆動車は「後輪」です。4輪駆動車や駆動輪がご不明な場合は、車両の「取扱説明書」に従って下さい。
●装着が不完全な状態で走行すると、十分な性能を発揮しないばかりか、チェーンや車両の破損や事故などを引き起こす恐れがあります。しっかりと確実に装着して下さい。
●無雪路等では使用しないで下さい。チェーンが破損しやすくなるばかりか、車両の走行性能が極端に低下し事故などを引き起こす恐れがあり大変危険です。雪がなくなったら、できるだけ早くチェーンを取り外して下さい。また、非舗装道路等(段差／緑石／砂利道)においても使用しないで下さい。
●時速40km以上で走行するとチェーンが遠心力で膨らみ、車体に接触する恐れがあるとともに、耐久性を著しく低下させ破損の原因となります。また、スピードを出しすぎると車両の安定性が失われ大変危険です。事故などにつながる恐れがありますのでお止め下さい。路面状況に応じては、それ以下に減速して走行して下さい。
●急発進(空転を含む)・急加速・急ハンドル・急制動などは車体への接触やチェーンの破損原因となり、事故などにつながる恐れもあります。やむを得ずこのような運転操作を行った場合や、走行中に異音が発生した場合は、安全な場所に停止してチェーンの状態をよく確認して下さい。
●雪道ではチェーンを装着していても走行性能が大幅に低下します。慎重な運転を心掛けて下さい。

△警告

●必ずタイヤに適合したサイズをご使用下さい。タイヤサイズが適合していてもタイヤの空気圧・摩耗量・ホイールのリム幅等によって多少異なる場合があります。また、スタッドレスタイヤは夏タイヤと同サイズでも、本製品が装着できない場合があります。**ご使用前に必ず装着テストを行って下さい。**
●本製品を使用することにより、タイヤ・ホイール・ホイールカバーをキズ付ける場合があります。ホイールカバーは取り外してご使用下さい。
●本製品を使用するとタイヤ表面の変形や削れなどが起きる場合があります。特に著しくタイヤの溝が減っている車両には使用しないで下さい。
●スノーヘルパー(雪道脱出具)との併用は、チェーンの破損や車体への損傷を引き起こす恐れがありますので併用しないで下さい。

△注意

◆取付手順

①

ケーブルジョイントを開き、チェーンを広げ、ねじれや絡みがない事を必ず確認して下さい。

②

ワイヤーユニット(橙)のワイヤーが完全に巻き取られているか確認してください。ワイヤーが巻き取られていない場合は、OPENボタン(青)を押してからワイヤーユニット(橙)をしっかり握り、ワイヤーヘッド(黄)を引張り出した後に、LOCKボタン(青)を押し込み、ワイヤーが完全に巻きとられたことを確認します。
※この時勢よくワイヤーが巻きとられますので、ワイヤーが手に接触するとケガをする恐れがあります。特に注意して作業して下さい。

③

黄色いパイプ

④

ケーブルジョイントの両端を持って広げながら持ち上げ、タイヤ上部手前で連結します。その際、ケーブルジョイントが相手側の金具に確実に挿入され抜けない状態になっていることを確認して下さい。

⑤

クロスチェーン(銀)を手前にし、左側のジョイントフック(緑)とサイドチェーン(黄)を連結します。

⑥

ケーブルをタイヤの裏側側面まで移動(落とし込み)し、かぶり深さが均一になるように整えます。この時、縦方向チェーンがまっすぐになるように整えて下さい。
※ケーブルがタイヤ接地面にかからないようにして下さい。

⑦

ワイヤーユニット(橙)のOPENボタン(青)を押します。

⑧

ワイヤーヘッド(黄)を持ちながらワイヤーを引き出します(20cm以上)

⑨A

サイドチェーンを可能な限り詰めて掛け直します。
図の様にジョイントフック(緑)に掛けるコマの位置を詰めます。

⑨B

※タイヤサイズによっては詰められない場合があります。その場合は、取付手順⑩に進んで下さい。

⑪

◆取付状態の確認

①サイドチェーンとクロスチェーンのつなぎのコマの向きを確認して下さい。NGの状態はチェーンが裏返しです。
②チェーンと車の接触音や異音がないか100m程度慣らし走行を行って確認し、安全な場所に車を止めてチェーンが正しい位置に装着されているか、またワイヤーがワイヤーユニット(橙)から15mm以上出ていることを確認して下さい。
※1ワイヤーユニット(橙)とワイヤーヘッド(黄)が接触している(ワイヤーが見えない)場合、自動増し締め機構が作動せずチェーン切れ等重大な事故につながる恐れがありますので20cm以上引き出してから、取付手順⑨に戻って作業して下さい。
※2⑨の調整を行っても正しい位置に装着できない場合は、取付を中止して下さい。

NG×

悪い例: コマが内側に向けてかかっている

OK○

良い例: コマが外側に向けてかかっている

NG×

悪い例: チェーンの絡み、ねじれがある

NG×

悪い例: ワイヤーユニット(黄)が接地面にかかっている

NG×

悪い例: ワイヤーの長さが15mm以下の場合

◆取外し手順

①

ワイヤーユニットがタイヤ接地面近くになるように車を止めます。

②

ワイヤーユニット(橙)のOPENボタン(青)を押してワイヤーヘッド(黄)を引きワイヤーを完全に引き出します(20cm以上)。

③

ジョイントフック(青)からワイヤーヘッド(黄)を外します。

④A

外す

④B

外す

④C

チェーンをタイヤの手前へずらしながらケーブルジョイントを外し、ジョイントフック(緑)とサイドチェーン(黄)を外してケーブルを左右に開きながら地面に下ろします。

ケーブルを地面に対して平らになるようにした後、チェーンが踏まれていなければ、そのまま抜き取ります。チェーンが踏まれている場合、各フック(特にワイヤーユニット)を踏まない様に注意しゆっくりと車両を移動して下さい。

⑤A

⑤B

※この時勢よくワイヤーが巻かれますので、ワイヤーに触れない様に注意して下さい。

伸びたワイヤーを格納します。

◆使用限度と保管方法

●チェーンは消耗品です。ご使用の都度、必ず破損の有無や摩耗量を確認して下さい。1箇所でも破損があったり摩耗量が50%程度になれば寿命ですので使用しないで下さい。
●万一、走行中にチェーンが切れた場合は、一時的に付属の補修リングで結合して下さい。結合方法は、切れたリングの両端を補修リングで結び、ベンチやプライヤー等で締め付けて下さい。
※補修リングはあくまでも一時的な応急処置です。継続使用することせず、お早めに新しいチェーンをお買い求め下さい。

△注意

50%摩耗したら使わない!!

補修リング

クロスチェーン用 サイドチェーン用

◆こんなときは?

①うまく取付けができない。

考えられる原因	参照事項
チェーンがねじれている	ねじれや絡みをなくし取り付け。
チェーンの接地面がずれている	P2. 取付け手順 ⑥を参照のうえ調整する。
チェーンのかかりが不均等である	P2. 取付け手順 ⑥を参照のうえ調整する。
適合サイズが違う	適合サイズに合ったものを使用する。

②走行中に接触音が発生する。

考えられる原因	参照事項
時速40キロ以上のスピードで走行した	時速40キロ以下で走行する
タイヤと車体との隙間が不十分である	車体の間隔が40mm以上あることを確認する
チェーンにたるみがある	P2. 取付け手順 ⑦～⑪を参照のうえ調整する。
ホイールカバーを外さずに取り付けた	ホイールカバーは外して取り付ける
適合サイズが違う	適合サイズに合ったものを使用する

③下記を行うとチェーンの主な破損原因となりますので行わないで下さい。
・装着が不完全な状態での走行。
・非舗装道路(段差／緑石／砂利道)での走行。
・時速40キロ以上のスピードでの走行。
・雪がなくなったあとでも取り外しをせずに、そのまま走行。
・摩耗限度(使用限度)を超えての使用。
・スノーヘルパー(雪道脱出具)の併用。
・取外す時の車両移動時にフック等を踏む。
・急発進(空転を含む)・急加速・急ハンドル・急制動などの操作。

△誤った取付け方法および使用方法による事故や損害等については、一切責任を負いません。
・ご自分での修理、改造などは絶対におやめください。
・仕様は予告なしに変更することがあります。

◆万が一、事故や損害が発生した場合について

万が一、本製品の欠陥が原因となり事故や損害が発生した場合は、直ちに発売元までご連絡下さい。また、原因の究明にあたって、下記のような必要最小限の情報のご提供や、現品の回収をお願いする事があります。調査前に処分されないようお願い致します。

●事故の詳細
●使用状況
●現品回収

●損害のあった物の写真
●医療機関の診断書
●その他、事故や損害の状況に応じて必要な情報など

JAAMA 全国自動車用品工業会会員

ニューレイトン株式会社

受付時間：平日 9 時～18 時（土日祝・年末年始除く）
TEL 03-3676-2991 FAX 03-3676-2996
http://www.newrayton.co.jp/

商品のお問い合わせは…
050-3505-8877